

令和3年度

第8回胆振東部森林再生・林業復興連絡会議（現地検討会）資料

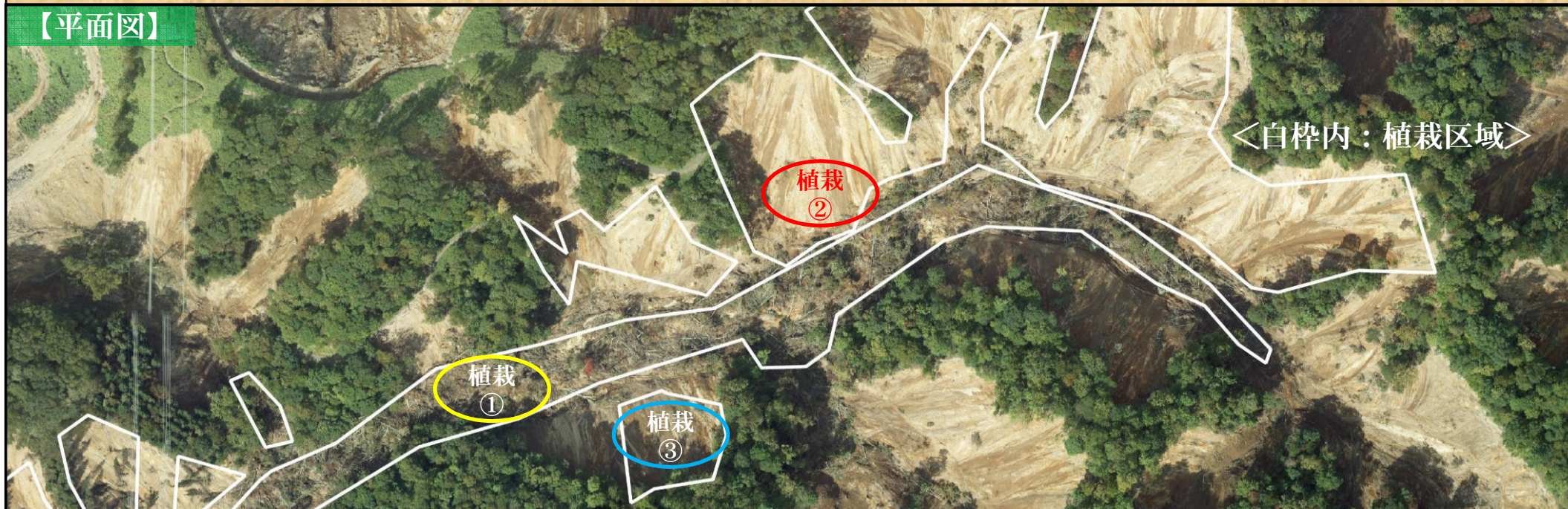
令和3年7月20日（火）

胆振総合振興局森林室森林整備課

□崩壊斜面において先行して植栽を実施した施行地について

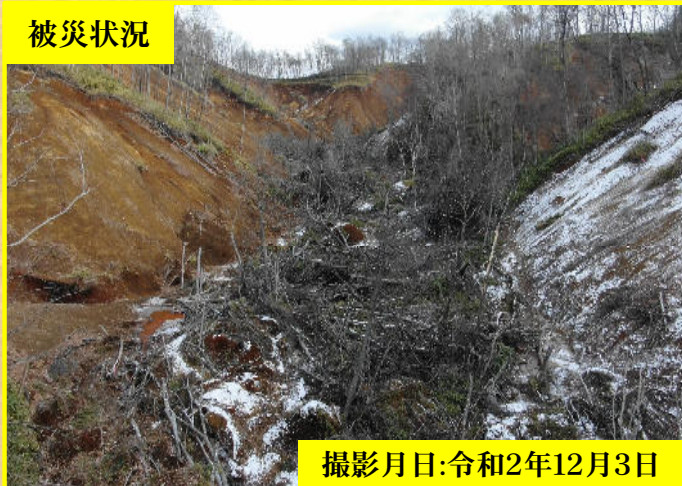
植栽箇所：道有林胆振管理区114林班65小班、樹種：カラマツ1号 11,500本、面積：7.18ha

【平面図】



植栽① 特殊地拵え【土壌評価良】（土壌硬度 4mm、透水性良、傾斜角度 9°、斜面方向 西向き）

被災状況



撮影月日:令和2年12月3日

施工中



撮影月日:令和2年12月10日

施工完了



撮影月日:令和3年6月11日

【植栽時の注意点・問題点について】

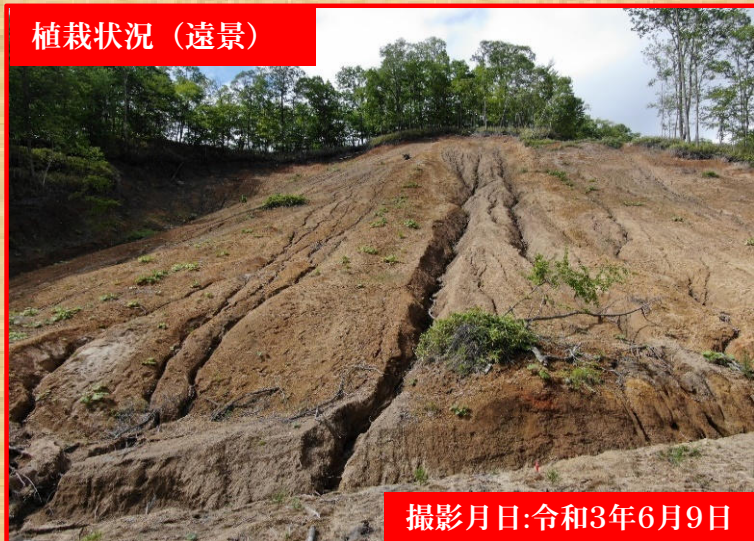
・特になし。

【植栽後の育成状況について】

- ・堆積地は、攪拌された表土や火山灰等が堆積し、活着良好で生育が期待できる。
- ・沢地では野鼠による食害が確認された。

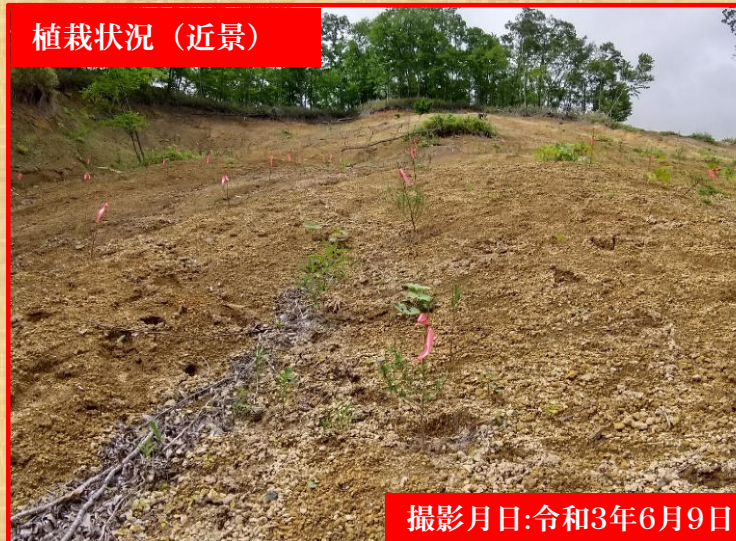
植栽② 無地拵え【土壤評価 良】（土壤硬度 10mm、透水性 中、傾斜角度 30°、斜面方向 南向き）

植栽状況（遠景）



撮影月日:令和3年6月9日

植栽状況（近景）



撮影月日:令和3年6月9日

平均傾斜



土壤:粘性土



植栽③ 無地拵え【土壤評価 良】（土壤硬度 4mm、透水性 中、傾斜角度 29°、斜面方向 北向き）

植栽状況（遠景）



撮影月日:令和3年6月9日

植栽状況（近景）



撮影月日:令和3年6月9日

平均傾斜



土壤:火山灰



【植栽時の注意点・問題点について】

- ・急傾斜地は、表土が薄いため滑りやすく足場が不安定である。特に、雨天では滑りやすく土壌が乾燥するまで危険で雨天後1~2日は作業が困難である。また、作業員に高齢者が多い。
- ・急傾斜地は、降雨や融雪による土壌浸食が著しく、計画（苗列間）通りの植栽が困難である。
- ・林縁は傾斜木、新たな崩壊や急傾斜地が多く作業も危険なため植栽地の除外としている。
- ・崩壊地内の被害木は筋工の代替えなど、極力現状で維持する。

【植栽後の育成状況について】

- ・南向斜面は活着普通、成長良好で、北向斜面は活着良好、成長普通の傾向が伺える。
- ・火山灰土質では、風の影響による横揺れが原因の風倒や粘土質では酸欠が原因と思われる枯損が確認された。
- ・林縁では野鼠による食害、沢地も含め植栽地全体ではシカや野ウサギによる食害が確認された。
- ・降雨による新たな土壌浸食により植栽木の倒木が懸念される。